

平成16年6月29日 日本下水道新聞

下水道展に併せ シンポなど計画

21世紀水倶楽部が総会

NPO法人・21世紀水倶楽部（理事長＝大迫健一・千葉工大教授）は23日、平成16年度総会を開き、7月下旬に横浜市内で開かれる下水道展の会場で、家庭用品が下水に与える影響に関するシンポジウム開催などを行う事業計画を決めた。シンポジウムは7月29日の午後、下水道関連団体の後援を得て、近年トイレ洗浄剤など様々な家庭用品が出回り、下水道に流入して

いることから、水処理や環境に与える影響を専門家、主婦などが出席して論じる。

また、新規事業として地方自治体向けに「相談窓口」の開設や、中小市町村下水道の早急な普及促進に関する調査を行う。同倶楽部の会員は現在57名。新理事に坂本弘道、巽良雄、深堀政喜の3氏が選出された。

大迫会長は「倶楽部は設立2年目になる。ホームページが主な活動であったが、いろいろ新規事業を計画しており、軌道に乗せた」と意欲を語った。